



# 絵本を届ける運動

2023

本  
の  
力  
を  
、  
生  
き  
る  
力  
に  
。



シャンティ国際  
ボランティア会  
Shanti Volunteer Assoc.



## なぜ絵本を届けるの？

本を知らないということは、つまり教育を受ける機会がないということ。教育を受けることができないと、安定した仕事に就けず、貧困から抜け出すことができません。学校や図書館などが不足している国では、子どもたちが学ぶ機会を持ってないまま、大人になってしまいます。

シャンティは厳しい環境で暮らす子どもたちにも、知らない世界を知るドキドキ、時間を忘れて夢中になる楽しさ、たくさんの物語や言葉を知る喜びに出会ってほしいと願い、絵本が不足している地域に

日本から翻訳絵本を届けています。



## 危機下の子どもたちにも絵本を

長年の戦争による経済停滞や政治の混乱による難民の流出、女子の低い識字率や中等教育以上の禁止など、さまざまな課題を抱えるアフガニスタン。シャンティはアフガニスタンの教育・文化の復興支援に20年以上携わり、学校建設、図書館活動を行ってきました。

子ども図書館には日本から届いた翻訳絵本が並んでいます。女子への教育が制限されている今も開館し教育の機会を失った女の子たちの貴重な学びの場になっています。



子ども図書館の映像はこちらからご覧いただけます。

## あなたのつくった 翻訳絵本が届くまで

### 1 翻訳絵本づくり

ご自宅や職場で、絵本に現地語の翻訳シールを貼っていただきました。

2023年1月～10月  
のべ17,882人 423企業・団体が参加  
(参加費・募金額：54,694,912円)

毎年の申込期限：10月末まで



### 2 翻訳絵本を海外へ

翻訳絵本はシャンティ東京事務所に集められます。梱包した翻訳絵本を運び出すのは年1回です。

2024年2月2日  
シャンティの職員や関係者  
38名が参加



### 3 海外事務所に到着

日本から船便や航空便で各国・地域のシャンティ事務所に届きます。船便輸送は日本郵船株式会社様にご協力いただいています。

2024年3月～4月ごろ到着予定



### 4 子どもたちの手元へ

・移動図書館  
・おはなしの読み聞かせ  
・学校や図書館への配架  
などの活動を通して、翻訳絵本が子どもたちへ届きます。

2024年5月以降





### これまでのあゆみ

「絵本を届ける運動」は、最初は「絵本1冊運動」でした。1999年に「絵本を届ける運動」が始まり、国内外でどのように取り組みが広がっていったのか、そのあゆみを知ることができます。



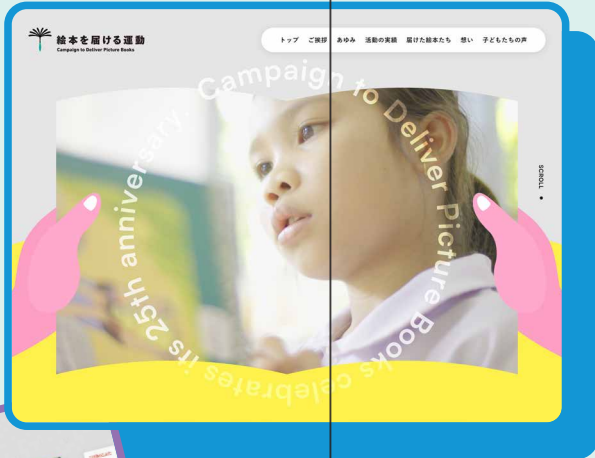
### 子どもたちの声

シャンティの活動地から届いた翻訳絵本を手にした子どもたちの声を集めました。

# 「絵本を届ける運動」活動開始から25年!

特設サイトを公開しました!

1999年から始まった「絵本を届ける運動」は、取り組み当初から現在に至るまでたくさんの方に支えられ、2024年に25周年を迎えます。そこで、これまでのあゆみや活動の裏側などをまとめた25周年特設サイトを公開しました。



また、「絵本を届ける運動」への参加を通じて世界や国際協力を身近に感じられたり、異文化に親しめるよう、制作セットのリニューアルを行いました。内容の刷新に加え、「参加のしおり」を追加しました。



特設サイトはこちら



### 届けた絵本たち

これまで届けた絵本のタイトル数は約300。長年愛されている定番の絵本から平和について考えられる絵本、数字などを学べる絵本までさまざまです。海外を学ぶ現地職員や絵本の専門家らと選んできた絵本の一部を紹介します。

### 支える人たち

どんな絵本を届けるか決める。翻訳絵本をつくる。つくった翻訳絵本を送る前に最終確認する。絵本を選ぶ。活動の裏側にある想いや、積み重ねてきた試行錯誤が見えてくるコラム集です。



### 言葉と文化が学べる「参加のしおり」



制作セットに追加された「参加のしおり」。絵本を届ける先の言葉と暮らしを、現地の文字や言葉の使われ方と一緒に紹介しています。

シャンティ国際ボランティア会は特定公益増進法人の認定を受けています。「絵本を届ける運動」への参加費はご寄付として、税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。領収書が必要な方はご連絡ください。

## 2024年から参加費が変わります

アジアの子どもたちの学びを支えるために、個人の方から企業・団体・学校などまで翻訳絵本づくりの輪が広がっています。しかし、絵本の購入費、印刷費、物流コストの値上げが重なり、これまでの参加費ではプログラムの運営継続が困難となりました。大変心苦しいのですが、2024年から参加費を3,000円に変更いたします。2024年度は18,649冊を目標にしています。変わらぬご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

毎年のお申し込み期限 10月末まで

\*目標冊数に達した時点で申し込み受付を終了いたします。

### 2024年度のお申し込みはこちらから

Q シャンティ 絵本を届ける運動



sva.or.jp/ehon



### 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 Shanti Volunteer Association (SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

Tel. 03-6457-4585 (「絵本を届ける運動」直通) / 03-5360-1233 (代表)

Fax. 03-5360-1220 E-mail. ehon@sva.or.jp

「絵本を届ける運動」2023年度 活動報告書 2024年3月1日

後援：文部科学省、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会

助成：公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 | 輸送協力：日本郵船株式会社

デザイン：保田 卓也 | 写真協力：川畑 嘉文 | イラスト：きよはら えみこ

〔写真中の絵本〕〈偕成社〉『はらべこあおむし』作：エリック・カール、訳：もりひさし 〈こぐま社〉『わたしのワンピース』作：にしきまきやこ 〈小峰書店〉『しんかいたんけん! マリンスノー』

作：山本 孝 (すずき出版) 『この計画はひみつです』文：ジョナ・ウィンター、絵：ジャネット・ウィンター、訳：さくま ゆみこ 〈福音館書店〉『どうやってねるのかな』『おかあさんといっしょ』作：やぶうち まさゆき 『おおきなかぶ』再話：A.トルストイ、訳：内田莉沙子、画：佐藤忠良 『ぐりとぐら』作：なかがわりえこ、絵：おおむら ゆりこ 〈ほるぷ出版〉『ここがぼくのいるところ』

作：ジョアン・フィッツジェラルド、訳：石津ちひろ

受け取った人たちの声

# Afghanistan

**アフガニスタン** マリヤムさん [仮名] (図書館を利用する子ども)

私は学校に行くことができないので、週に2回、午前も午後も子ども図書館で過ごします。1週間に10回本を読みます。『はらぺこあおむし』(偕成社)は特におもしろいです。あおむしがきれいな蝶になり、好きな場所で楽しく暮らす最後のページが好きです。将来は自分の家に教室をつくって、学校に行けない子どもたちが自由に勉強できるようにしたいです。



# Myanmar

**ミャンマー** アウン・フォン・ビェさん (図書館を利用する子ども)

図書館には毎週来て、一回に3冊から5冊くらい本を読みます。『ここがぼくのいるところ』(ほるぷ出版)という絵本がお気に入りです。特に「くには、ちきゅうのうえにある」という文章と絵を見ると世界に存在していることがわかるので好きです。世界について知ることができる本をもっと読みたいです。将来はビジネスマンになってトラックを扱う会社をやりたいです。



# Laos

**ラオス** スリスックさん (教員)

教えることが好きで若いときから教師になることを夢見てきました。16年間小学校で教えています。子どもたちが本を読む機会があることを大変うれしく思います。好きな絵本は『おかあさんといっしょ』(福音館書店)です。父親がおらず、母親と一緒に暮らしてきた自分と重なるところがあるからです。みんなに学校を卒業して、良い人生を歩んでほしいです。



# Cambodia

**カンボジア** トン・モンクラさん (シャンティ職員)

日本の絵本を見た時、その頑丈さと色の美しさに感じました。図書館活動に同行して自分でも日本の絵本を読むようになり、ストーリーもおもしろいことが分かりました。好きな絵本は『ハンダのびっくりプレゼント』(光村教育図書)です。子どもたちには身体だけでなく、心も成長して行ってほしい。そして、前向きに生きて、それぞれの人生の目的を見つけてほしいです。



## 届いた翻訳絵本は シャンティの教育文化支援活動に 役立てられています

2023年度に「絵本を届ける運動」を通じて届けた翻訳絵本の冊数

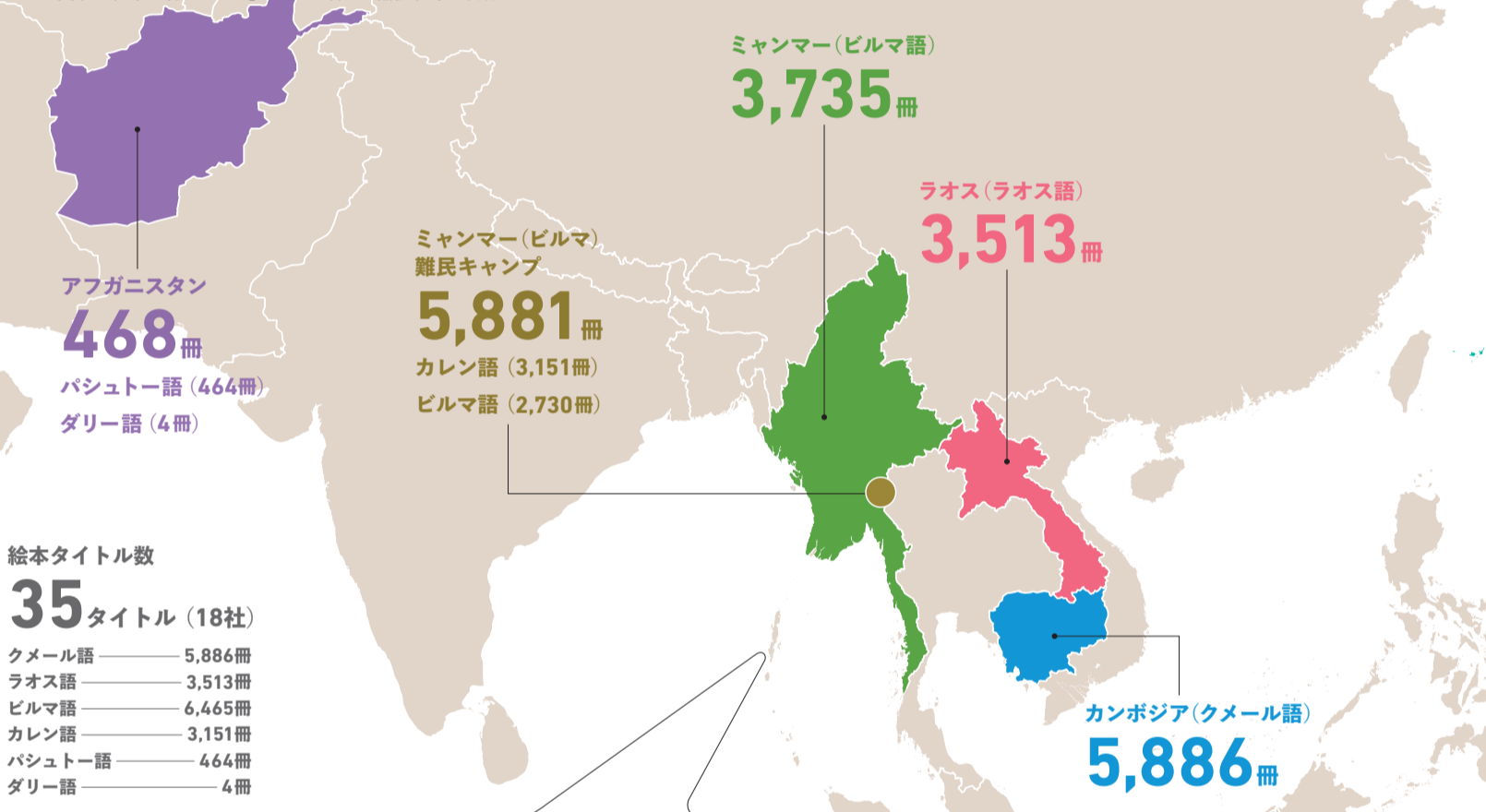
合計冊数 (2023年度末まで)

# 19,483冊

日本での参加者数

# 17,882人 (のべ)

# 423企業・団体



絵本タイトル数

# 35タイトル (18社)

クメール語	5,886冊
ラオス語	3,513冊
ビルマ語	6,465冊
カレン語	3,151冊
バシュトー語	464冊
ダリー語	4冊

# Japan

2023年度に「絵本を届ける運動」に参加した方々の声

**企業での参加**

一緒に絵本にシールを貼りながら、自分の名前を書いた本が遠い国の子どもたちに届いて役立てられることを子どもに話すと、興味をもって作業していたので良い教育の機会だと感じた。

**個人での参加**

絵本をつくっている間、「なんだか優しい気持ちになれるね」という息子の言葉が印象的でした。高2の娘と中1の息子と作成しました。この本を読んで笑顔が増えてくれるとうれしいです。

**団体での参加**

アフガニスタンの女性や子どもたちの置かれている状況をあらためて考えさせられました。子どもたちが希望を持てる国に早く戻ってくれることを祈っています。絵本が子どもたちの心を少しでも豊かにしてくれることを願っています。

**自治体での参加**

キャンプで生まれ育った子どもたちは絵本を通して外の世界を知ることが印象深く、翻訳絵本をつくるにあたって思いを込めて制作することができ、貴重な体験となりました。

# Myanmar (Burma) Refugee

**ミャンマー (ビルマ) 難民キャンプ** トゥー・ゲイ・ラーさん (図書館を利用する子ども)

両親はミャンマーから難民キャンプに来て、私はここで生まれ育ちました。私は毎日図書館に来て、家でも図書館でも絵本を読んでいます。好きな絵本は『しんかいたんけん! マリンスノー』(小峰書店)です。私は海を見たことも、海で泳いだこともないので、絵本で海の生き物を見た時、とてもびっくりしました。将来は医者になって両親の面倒を見てあげたいです。



## シャンティ国際ボランティア会とは

1981年に設立したアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。子どもたちへの本を通じた教育文化支援、国内外の災害や紛争後の緊急人道支援を行っています。

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて取り組んでいます

2015年9月に国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。シャンティは「目標4.質の高い教育をみんなに」を実現するため、教育課題の解決に取り組んでいます。また、「SDGs」「国際理解」などをテーマに、絵本をつくりながら行うワークショップを受け付けています。ご希望の方はウェブサイトよりお申込みください。



アジア地域への理解を深めるワークショップ

「絵本を届ける運動」では、幅広い層の方が国際協力に参加し、アジア地域への理解をより深めてもらうために、オンラインや対面のワークショップを開催しています。2023年度は企業・団体、学校・図書館で合わせて33回行い、1,266名が参加しました。

ワークショップでは、翻訳絵本が活動地でどのように子どもたちに読まれているかを話し、翻訳絵本をつくります。参加された方からは「届ける地域の状況を知ることができ、より貴重な体験と



これまでに届けた翻訳絵本 (累計)

# 合計 400,720冊 (2023年度末まで)

タイトル数: 312タイトル  
出版社数: 42社  
参加者数: のべ326,109人、企業・団体: のべ3,022件

